

## 1 町の概要（H30年度）

人口	9,265	人
保護率	1.2	%

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	8.1
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	4.5
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.7

## 3 実施方法について

実施方法	委託（単年契約・随意契約）
事業費	2,100千円
理由 (委託)	・経済的な問題の背景にある根源的な課題を把握し必要な支援を展開していくうえで、貸付のあっせん等を含むことからこれまで社協が実施してきた事業で取り組んできたノウハウを活かした事業展開ができると考えたため。
事業概要	家計改善支援員 1名（自立相談支援員兼務） ・家計改善支援事業は自立相談支援事業と一体的に実施しており、自立相談支援員が家計改善支援員を兼務している。 ・関係機関に事業の周知・説明を行い、支援対象者を把握した場合には繋いでもらうよう協力を呼び掛けている。
課題・対応	【課題】 ・拘束力のない中で、相談者の家計管理に対する必要性の理解や意欲を引き出すことに苦慮している。  【対応】 レシートの管理をしてもらい、定期的に支援員と一緒に集計することで、本人自身の気づきと家計に対する意欲の向上を図っている。

## 4 事業実績（H30年度）

事業利用者数 (支援決定)	家計の 改善	就労支援
1人	1人	1人

## 5 事業実施のポイント

## ポイント①

社協が持っている強みを生かしながら、相談者の状況に応じた、寄り添いながらの支援を展開。

- ・相談者の状況に応じて、社協が実施している事業担当者や関係機関との連携を行いながら、さまざまな視点により総合的な支援を検討している。
- ・これまでの社協事業での経験を活かして、相談者が抱えている問題を理解、分析し信頼関係を構築しながら支援を展開している。

## ポイント②

定期的な面談と家計の見える化により、相談者自身の自立意欲の向上についてのサポートを実施。

- ・一日ごとにレシートをノートに貼り付けてもらい、定期的に集計し収入、支出をグラフ化することで相談者自身の気づきなどに繋げている。

## 6 取り組んで良かったこと

- ・相談者と生活に困窮した原因を家計表を作成しながらコミュニケーションを深めることができ信頼関係の構築に繋がった。